

スチュワードシップ・セミナーのご案内

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

『エンゲージメント型・対話重視型ファンドの 「対話」の取り組み』

【日時】 2016年1月15日（金）午後2：00～4：30（受付開始1：30）

【会場】 日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

【講師と演題】

I. 講演

1. スコット・キャロン氏
いちごアセットマネジメント（株）代表取締役社長
「投資先企業に資する投資家として—いちごが目指すエンゲージメント」
2. 田中喜博氏
あすかコーポレートアドバイザー（株）代表取締役COO
「あすかコーポレートアドバイザーが取り組む投資先企業との対話について」
3. 山下恵史氏
（株）りそな銀行 アセットマネジメント部 株式運用室長
「りそなの責任投資の取り組み」

II. パネルディスカッション：

「エンゲージメント型・対話重視型ファンドの「対話」の取り組み」

パネリスト：

スコット・キャロン氏

田中 喜博氏

山下 恵史氏

モデレーター：

木村 祐基 スチュワードシップ研究会 代表理事

【講師・パネリストのご紹介】

スコット・キャロン氏

いちごアセットマネジメント（株）代表取締役社長。日本開発銀行、モルガン・スタンレー証券 株式統括本部長等を経て、2006年に同社を創業。2008年いちごグループホールディングス（2337）代表執行役会長に就任、株主総会議長も務める。2015年よりチヨダ（8185）社外取締役。金融庁・東証主催「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。プリンストン大学卒業後、スタンフォード大学博士号（政治学）取得。日本の永住権を有し、通算滞在年数は26年。

田中喜博（たなか よしひろ）氏

あすかコーポレートアドバイザー（株）代表取締役 COO。日本債券信用銀行（現あおぞら銀行）で上場株運用に携わった後、ジャフコにて事業投資・企業価値向上を経験。ユアサエレクトロニクス、キッチンハウス、ヴィクトリア、ガソニックス等の社外取締役・社外監査役を歴任。モルガン・スタンレー証券会社で中小型企業調査に従事した後、あすかコーポレートアドバイザーに参画。大阪外語大学アラビア語学科卒。ペンシルバニア大学ウオートン校経営学修士（MBA）

山下恵史（やました けいし）氏

（株）りそな銀行 アセットマネジメント部 株式運用室長。1993年4月 りそな銀行入行。1996年4月 国際開発センター出向/開発経済学専攻、2001年6月 信託財産運用部（現アセットマネジメント部） 外国株式ファンドマネジャー、2002年2月 国内株式アナリスト、2004年9月 国内株式ファンドマネジャー、2013年10月 パッシブ運用室長、2014年7月より現職
日本証券アナリスト協会検定会員

木村祐基（きむら ゆうき）

一般社団法人スチュワードシップ研究会代表理事。1973年野村総合研究所入社。企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。

申込み方法：

参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に＜1/15 セミナー申込み＞と記入して、2016年1月8日までに、info@stewardship.or.jp までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思っております。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；1,000円（当日受付でお支払いください）

スチュワードシップ研究会会員は無料

交通アクセス



*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。

スチュワードシップ研究会について

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、（中略）当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行ってまいります。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 共同による企業等との対話の場の設定
- ④ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ⑤ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□代表理事の経歴

木村祐基（きむら ゆうき）

1973年野村総合研究所入社。企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、info@stewardship.or.jp にご連絡ください。